

オリンピックラウンド・コンパウンドマッチラウンド (個人決勝トーナメント) の説明

競技について

- ・練習は個人決勝トーナメントの前に1分30秒を2回行う。練習時間内の本数制限は設けないが、時間外発射を行わないこと。
- ・個人決勝トーナメントのリカーブはオリンピックラウンド(1分30秒3射)5セットマッチ(6ポイント先取)を行う。
※3位決定戦、優勝決定戦も交互うちを行わずに、同様の行射とする。
- ・個人決勝トーナメントのコンパウンドはコンパウンドマッチラウンド(1分30秒3射)5エンド(合計得点制)を行う。
※3位決定戦、優勝決定戦も交互うちを行わずに、同様の行射とする。
- ・リカーブ70mは122cm的、コンパウンド50mは80cm6リング的を使用して行う。
- ・リカーブの対戦では、各セットの勝者は2ポイント、同点の場合は両選手に1ポイント、シュートオフの勝者は1ポイントを獲得する。各対戦で6ポイント以上に達した選手は勝者となる。
- ・各対戦の立ち位置はトーナメント表どおりとする。(トーナメント表は大会当日発表)

個人決勝トーナメントへの進出・順位決めについて

- ・リカーブ70mラウンド男女各上位16名、コンパウンド50mラウンド上位4名(男女の区別なし)が個人戦決勝ラウンドに進出するものとする。
- ・個人戦決勝トーナメントへの進出および個人戦決勝トーナメントでの同点はX数、10点数を考慮せずすべてシュートオフで勝敗を決する。
- ・70mラウンドの16位、50mラウンドの4位で同点が生じた場合、1射(30秒)のシュートオフを行い、勝者が個人決勝ラウンドへ進出する。
- ・70mラウンドの1位~15位、50mラウンドの1位~3位で同点が生じた場合は以下のように順位を決定する。
 - ① X(インナー10)数の多いもの。
 - ② 10点の数の多いもの。
 - ③ ①②も同数の場合は、ディスクトスによって順位を決定する。ディスクトスは、競技本部において競技委員長立会いの下で実施する。

対戦がない(bye)選手の練習について(対戦相手が棄権した場合を含む。)

- ・練習は指定された的で行う。
- ・練習はリカーブは3セットまで、コンパウンドは5エンドまでとする。
- ・1セットおよび1エンド内の行射は3本までとする。4本以上行射した選手は、その後の練習を行うことはできないが、次のマッチの制裁の対象とはならない。

次ページに続く

オリンピックラウンド（リカーブ70m）の行射について（1回戦～決勝まで）

- ・ 2名同時行射とし、採点、得点記録は当該選手が行う。3位決定戦、優勝決定戦であっても交互うちは行わず、採点、得点記録も当該選手が行う。
- ・ ブザー2声でSLに入り、ブザー1声で行射を開始する。
- ・ 5セット終了時でセットポイントが同点の場合は、両者同時行射で1射（制限時間30秒）のシュートオフにより勝敗を決定する。

コンパウンドマッチラウンド（コンパウンド50m）の行射について（1回戦～決勝まで）

- ・ 2名同時行射とし、採点、得点記録は当該選手が行う。3位決定戦、優勝決定戦であっても交互うちは行わず、採点、得点記録も当該選手が行う。
- ・ ブザー2声でSLに入り、ブザー1声で行射を開始する。
- ・ 5エンド終了時で同点の場合は、両者同時行射で1射（制限時間30秒）のシュートオフにより勝敗を決定する。

稲川杯の順位付け方

- ・ 全ての競技者は個別に順位を付ける。
- ・ イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドを敗退した競技者は敗退したマッチ戦の規定本数の素点平均点（小数点以下第3位に切り上げ）が順位付けに使用される。
- ・ 規定本数の素点平均点が同点だった場合、その順位のみシュートオフの素点平均点を加えて再比較し順位を決定する。それでも同点の場合は同順位とする。
（シュートオフが発生した選手はシュートオフを加えるが、発生していない選手はそのまま素点平均点とする。同点で両選手ともシュートオフが発生していない場合は同順位となる）